



医療九条の会・北海道など護憲運動をして  
いる市内4団体の共催。益川さんは「九条  
科学者の方」の呼び掛け人でもある。

2008年にノーベル物理学賞を受賞した、名古屋大素粒子宇宙起源研究機構長の益川敏英さんが14日、「科学と平和」をテーマにした講演会を札幌市中央区の共済ホールで行った。益川さんは科学技術を平和利用することの大切さを強調。約750人の来場者が耳を傾けた。

20世紀は物理学が目覚ましい発展を遂げた時代だったと説明。一方で、電磁波の特性を発見した研究が第2次世界大戦でレーダー開発に応用され、軍事利用

された歴史も紹介。益川さんは「科学の発展は、人類にとってより多くの自由を準備してくれるが、それをどう使うのかは人間側の問題」と述べ、利用

次第で科学の発展が社会の脅威にもなりうる」と指摘した。さらに科学の平和利用に向け、多くの科学者が、社会問題にも関心を持つ大切さを訴えた。

科学と平和について講演した、ノーベル物理学賞の益川さん

# ノーベル賞 益川さん札幌で講演 科学技術 平和利用を